

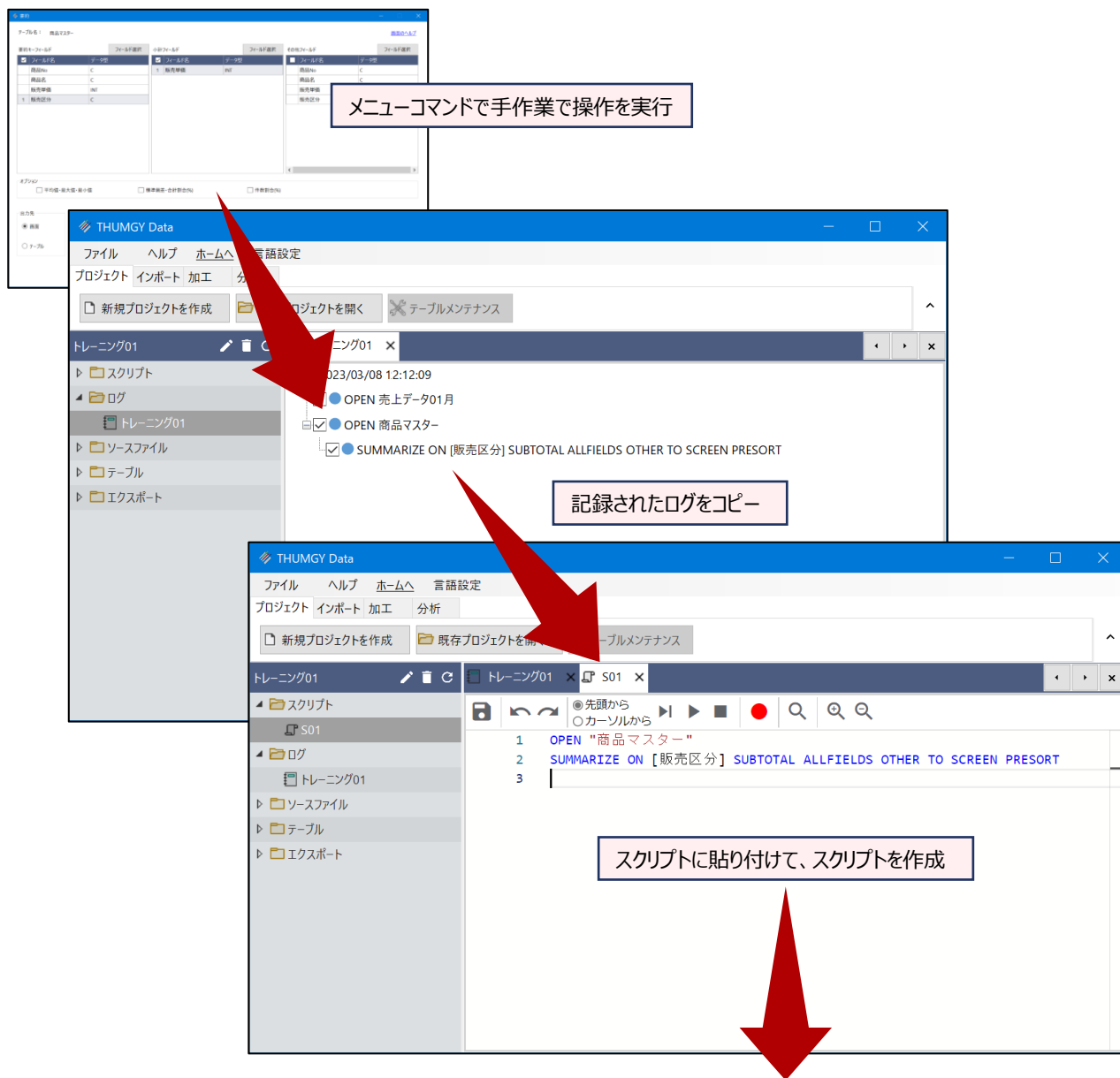
# スクリプト

スクリプトは、THUMGY Data上で作成できる簡易プログラムです。ログを利用してスクリプトを作成し、操作を自動実行することができます。

## ◇ログとスクリプト

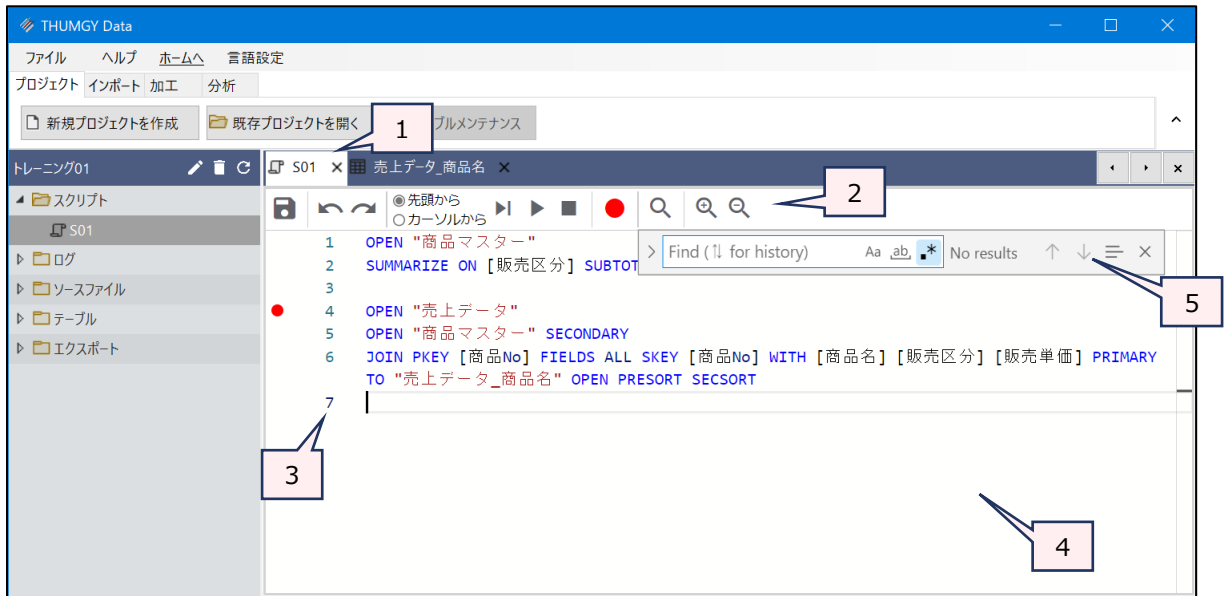
THUMGY Dataのログは、スクリプトの「コマンド」の形式で記録されています。

そのため、ログをコピーしてスクリプトに貼り付けることで、その操作を自動実行するスクリプト（プログラム）を作成することができます。



次回から、スクリプトの実行により、同じ操作が自動で行えます。

◇スクリプトの編集画面



1. タブ : 編集中のスクリプトのスクリプト名が表示されます。

2. スクリプトメニュー : スクリプトの編集、実行に使用するツールです。

アイコン	名前	機能
	保存	スクリプトを上書き保存します。
	元に戻す	編集内容を取り消します。
	やり直す	「元に戻す」で取り消した操作を再度行います。
<input checked="" type="radio"/> 先頭から <input type="radio"/> カーソルから		「ステップで実行」、「実行」を行う前に、スクリプトを先頭行から実行するか、カーソルを置いた行から実行するかを指定します。
	ステップで実行	スクリプトを1行ずつ実行します。
	実行	スクリプトを実行します。
	ストップ	実行中のスクリプトを停止します。
	ブレイクポイント	スクリプトを一時停止する行を指定します。対象の行の行番号の左側のクリックで、ブレイクポイントの設定／解除を行います。
	検索	スクリプト内で、指定した文字列を検索するための検索ウィンドウ (5) を表示します。
	ズームイン	入力エリアの文字の大きさを拡大します。
	ズームアウト	入力エリアの文字の大きさを縮小します。

3. 行番号 : スクリプトの行数が表示されます。

- 行番号をクリックすると、行全体が選択されます。
- ブレイクポイントを設定した行は、行番号の前にブレイクポイントのアイコン（赤い丸）が表示されます。



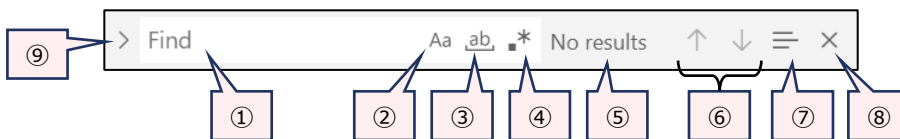
4. 入力エリア：スクリプトを編集します。

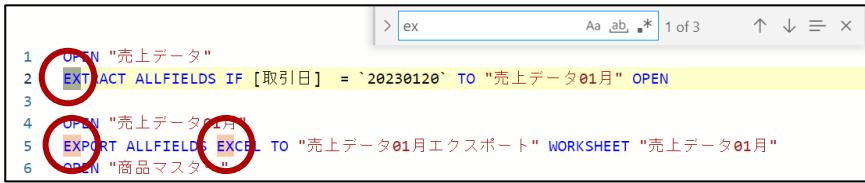
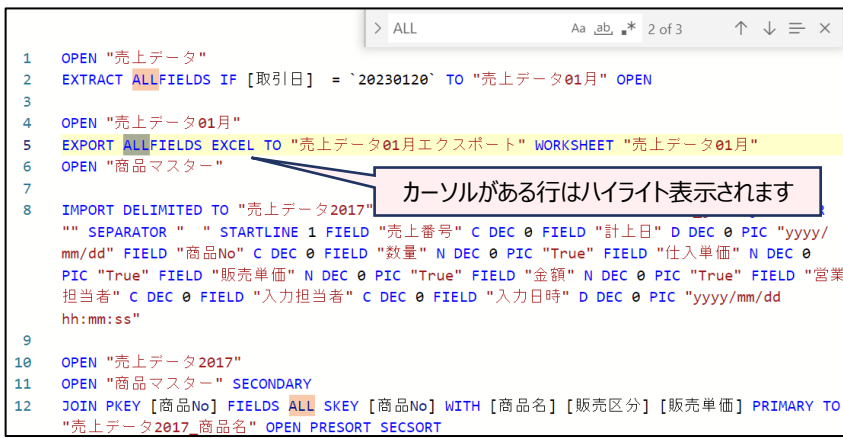
- スクリプトの文字は色分けされています。
  - 青：コマンド
  - 茶：テーブル名、ファイル名
  - 黒：フィールド名
  - 緑：コメントのテキスト文
- スクリプトが長い場合は、折り返して表示されます。
- 既存の行の末尾で、キーボードのEnterキーを押すと、改行され、空白行が挿入されます。

4	OPEN "売上データ"
5	OPEN "商品マスター" SECONDARY
6	JOIN PKEY [商品No] FIELDS ALL SKEY [商品No] WITH [商品名] [販売区分] [販売単価] PRIMARY TO "売上データ_商品名" OPEN PRESORT SECSORT
7	

折り返されている行

5. 検索ウィンドウ：《検索》ボタンのクリックで表示されます。スクリプト内で、指定した文字列を検索できます。



番号	機能
①	<p>検索する文字列を入力します。 入力すると検索が開始され、一致した文字に色がつきます。</p> 
②	<p>大文字・小文字を区別して検索する場合にクリックします。</p>
③	<p>単語単位で検索する場合にクリックします。 通常は、「ALL」で検索すると、「ALLFIELDS」（すべてのフィールドを選択した場合に、スクリプトで使用される記述）も検索されますが、「ALL」という単語だけを検索したい場合に、このオプションを使用すると、「ALLFIELDS」という単語は除外されます。</p>
④	<p>正規表現を用いた検索を行う場合にクリックします。</p>
⑤	<p>検索に一致した件数が表示されます。一致しない場合は、「No results」と表示されます。「2 of 3」は、3件検索された内の2件目にカーソルがあることを意味します。</p> 
⑥	<p>検索結果を上方向・下方向に移動する場合に使用します。</p>
⑦	<p>検索する範囲を指定したい場合に使用します。検索する範囲をドラッグで選択し、このオプションをクリックしてから、①に検索文字列を入力します。</p>
⑧	<p>検索ウィンドウを閉じます。 ウィンドウを閉じても検索結果がハイライト表示される場合は、ハイライトされていない箇所をクリックします。</p>
⑨	<p>文字列を置換するためのボックスを表示します。</p> 